

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 6. 22

No. 19

「余り物に福」に期待!

先日 19 日に上伊那地区の各高校の進路担当者の会議が伊那のハローワークで行われました。その席上で今年の求人状況が発表になりました。毎年7月の中旬にこの地域の求人票の一覧表が冊子になり、就職希望者全員に配布されますが、そのための資料として各企業から職安に提出される締め切りが 19 日でありました。6月19日現在の昨年度と今年の比較を示したものが下記表です。

	求人企業数	求人者数	就職希望者数
昨年度	100社	293人	362人
本年度	42社	107人	343人

求人を出している個々の会社名はまだお聞きすることが出来ませんが、本校で会社訪問をし求人を出していただけたといわれた会社で、まだこの中に入っていないものも何社か有りましたので、実際にはもう少し増えるとは思いますが、大変な数字に驚いてしまいました。7月初旬に配布される求人票の冊子も昨年はおよそ140ページであったものが、今年は40ページに満たないとのこと。「百年に一度の大不況」といわれる意味が、この数字を見てあらためて重くひしひしと感じられました。

ただ景気も底を打ち、少しずつ回復傾向にあり、秋口にはもう少し求人が伸びると思いますので、今の時点でこの数字を見てあまりショックを受け悲観しすぎない方がよいと思います。「残り物に福がある」とよく言われますが、**今年はまさにそれを期待してみましょう。**



夏休み中事業所見学について

就職希望者の今後の日程は以下のようになっています。今年は現段階で求人数が極めて少なく、夏休み中の企業見学が出来る生徒は限られてしまいそうです。この様な状況は今まで一度もなかった事態だけに、この対応方法については詳細は担任の先生方と相談してあらためて生徒の皆さんには連絡しますが、とりあえず夏休みの対応については職業安定協会の方で決めていただいたものですので、それに合わせて対応せざるを得ません。その後求人が出次第企業見学は順次行っていききたいと思います。

ともあれ皆さんは**自分のアピールポイントをしっかり見つめ**、面接等でそれがいかに表現できるようそれなりの準備を心がけましょう。今年は企業でも「厳選採用」となります。何かウリがないとアピール度が弱まってしまいます。勉強、部活、生徒会、資格、ボランティア、性格(明るさ、根性、やる気、打たれ強さ等々)・・・

くれぐれも**安易なフリーター志向にならないで下さい**。学卒時のチャンスを逃すとなかなか正社員になれません。しかも生涯賃金で大きなマイナスとなります。

7月 2日(木) 各校へ職安より求人票送付

7月16日(木) 夏休み中事業所見学希望調査締め切り(職安へ発送)

7/27~8/7 企業見学実施(職安で班編成後、見学日23日学校に連絡)

8/20 校内選考